

衆議院第一議員会館内セミナー
グリニッジ大学Steven Haines教授に学ぶ

学校はどうしたら

軍事利用から守れるか

—日本政府の役割とは—

攻撃を受け破壊された、シリアの学校の教室。
© Ahmad Baroudi/Save the Children

主催

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
国際人権団体 ヒューマン・ライツ・ウォッチ



Save the Children



紛争下では、学校が攻撃の対象になることや、軍の拠点として使われることがあります。そのような状況に対し、学校を攻撃や軍事利用から守るための国際的な指針が、「学校保護宣言」です。現在、世界81ヶ国が支持を示していますが、日本はまだ調印に至っていません。本セミナーでは、「学校保護宣言」のガイドライン策定の中心を担ったSteven Haines教授から、この宣言の意義を学びます。

日時

2018年

11月22日(木)

10:00～11:00

会場

衆議院第一議員会館
第一会議室 B1階

参加方法

参加をご希望の方は、
下記のリンクまたはQRコードより、
参加申し込みをお願いします。



<https://bit.ly/2AAbzaF>

※定員に達し次第締め切らせていただきます。

プログラム

1. 学校保護宣言とは
2. Steven Haines氏による講演
3. 高校生からの活動紹介
4. 外務省・防衛省からのコメント
5. 議員の先生方からのコメント
6. 質疑応答・ディスカッション
7. 閉会あいさつ



© Human Rights Watch

リビア:2011年3月1日、ベンガジの中学校にて
反政府武装集団が高射砲の使用方法を訓練している

プロフィール



スティーブン・ヘインズ

Steven Haines 教授

30年以上に渡り英国海軍に従軍し、国際制裁、テロ対策、沿岸警備等の軍事行動、英国国防省・海軍の政策に関与。2003年以降、複数の大学で国際人道法、武力紛争法、国際安全保障等の教鞭を執り、2008～2012年には国際弁護士としてジュネーブ安全保障政策センターの安全保障・法律部門の責任者を務める。2012年、GCPEA*にて「学校保護宣言」の土台となるガイドラインを策定。現在、グリニッジ大学国際法学部にて海洋におけるガバナンスや安全保障を研究。

*裏面をご参照ください。

詳しくは裏面

学校保護宣言とは

「学校保護宣言-Safe Schools Declaration-」とは、武力紛争下でも学校や大学は軍事目的で使用されるべきではないことを明示した国際的な指針です。教育を攻撃から守る世界連合(Global Coalition to Protect Education from Attack, 以下GCPEA)は、世界中の全ての人々が安心・安全な環境で学ぶことができる社会を目指し、2012年、「武装紛争下で学校や大学を軍事目的使用から守るためのガイドライン」の策定に着手しました。この動きは、2014年以降、ノルウェー・アルゼンチン両政府が主導する形で引き継がれ、2015年「学校保護宣言」としてオスロ会合で発表されました。

2018年10月現在、世界の81カ国が、G7の中では日本と米国を除くすべての国が、この「学校保護宣言」に調印しています。「学校保護宣言」には、主に右のようなことが述べられています。

しかし、GCPEAの最新調査によると、2013年～2017年の間、世界の29ヶ国の学校が軍事利用されたり、学校が意図的に破壊されたりし、教師や生徒が殺害・拉致される被害も出ていると報告されています。

このような状況を少しでも減らすため、そして全ての子どもたちが安心・安全な環境で学べるよう日本政府としてのコミットメントを示すため、今、日本政府の「学校保護宣言」への調印が求められています。

1. 軍事利用の目的で、開校中の学校を使用することの禁止
2. 民間人が退去後の学校の使用は最終手段の場合のみとすること
3. 武装紛争下における学校の意図的破壊の禁止
4. 敵が軍事目的で使用している学校への攻撃をする際、事前警告をするなど代替手段の検討義務
5. 戦闘部隊による学校警備の原則禁止
6. 「武装紛争下で学校や大学を軍事目的使用から守るためのガイドライン」の実施



NGOの活動



© Human Rights Watch

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンや国際人権団体ヒューマンライツ・ウォッチは、他の賛同団体と共に、これまで一般の方々への署名活動、国会議員や外務省・防衛省の方々との対話を通じ、日本政府に「学校保護宣言」への調印を求める活動を行ってまいりました。

私たちが本活動を続ける根本的な理由は、「すべての子どもたちが安心・安全な環境で教育を受けられる世界を実現したい」というとてもシンプルなものですが、これを実現することには多くの困難を伴うことも現実です。本セミナーを通じ、改めて皆さんと何ができるかを考えたいと思います。

高校生の活動



© Human Rights Watch

世界の学校や教育現場が軍事利用されていること、また攻撃の対象となっていることを知った日本の高校生の有志グループも、この活動に主体的に関わっています。この活動は、東京2校、長崎2校、沖縄1校の高校生を中心に、約50校の高校生が参加し進められており、2018年5月には「学校保護宣言」に賛同してくださる方々から集めた署名による、大きな「こいのぼり署名」が完成しました。高校生が作成したWebサイトには、「学校保護宣言」や、学校の軍事利用の現状がまとめられています。



Webサイトはこちら
<https://www.ssdstudent.com/>

お問い合わせ

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

TEL:03-6859-0015 japan.advocacy@savethechildren.org

担当:川口